

一般質問・質疑の概要

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
1	質問 (一問一答)	15 岩見 博	<p>1 介護保険「新総合事業・地域支援事業」について</p> <p>(1) 介護事業所などの実施事業所の確保の見通しは立っているのか。それは現行水準のサービスを提供できる数・質・量になるのか。事業者からどのような意見が寄せられているのか。</p> <p>2 中央地区整備事業について</p> <p>(1) 事業の中心は図書館事業、中央公民館事業であり、市民の生涯学習事業であるにもかかわらず教育委員会事務局の立ち位置が従になっていて不明確。市民との関係でも、教育委員会事務局の立ち位置を主にして、行っている仕事が見える形にすべきではないか。</p> <p>3 新市立図書館について</p> <p>(1) 武雄市立図書館や海老名市立図書館で古い雑誌や通常では選書基準の対象外となる書籍が並べられていたり、選書リストにあったりしたことが問題となっている。この問題を教育長はどう捉えているか。この問題で、図書館流通センターと話し合ったか。蔵書の購入・選書が事業者任せにならないように教育委員会事務局のチェック機能を確立すべきではないか。</p> <p>4 新市立図書館へのコミュニティバス乗り入れと「のっティ」コースの見直しについて</p> <p>(1) 計画では新図書館にコミュニティバスを乗り入れることになっているが、具体的にはどのルートを乗り入れることになるのか。子どもや高齢者など交通弱者と言われる方も図書館を利用しやすいようにするためには全体のコースの見直しも含め、現在のフォルテ前の乗り継ぎ場所を新図書館に変更することも含め、検討が必要ではないか。</p> <p>(2) あすなる団地に住む高齢者のみなさんが団地へののっティ乗り入れを望んでいる。以前あった団地内を通るコースは困難にしても、現在の御経塚バス停から御経塚遺跡公園前、ふるさと歴史館前、国道8号線横の町道を通るコースにして団地に近い場所でバス停を設けることができればあすなる団地内に入らなくても団地住民の交通の便が格段に良くなる。新図書館乗り入れに合わせて実現できないか。</p> <p>5 防災意識を高める方策について</p> <p>(1) 地震、津波、原発事故、豪雨、竜巻、土石流等々の災害が相次ぎ、防災への関心が高い。そうした中、東京都が都民に配布している「東京防災」本に全国から高い関心が寄せられ、販売されるようになった。市民向けの防災啓発本として大変参考になる。市民の防災意識を高める方法として参考にできないか。検討してみる値打ちはあると思うが。</p> <p>6 安保法制（戦争法）について</p> <p>(1) 法律の成立によって、アメリカが起こす戦争に日本が否応なく巻き込まれる危険が格段に強まったことは間違いありません。事実、戦争法とのかかわりで政府は、ISに対する空爆への軍事支援について「政策上やらない」としつつも「法律上は可能だ」との立場を取っています。もし米国が対IS軍事作戦への協力を求めてきたときに政府は断れるのでしょうか。これまでは断ることができたかもしれませんが、しかし戦争法によって支援が可能になったわけですから断ることができなくなったのです。これからは日本が「憎みの贈り物」をすることになり、日本国民がテロの標的にされることになる。絶対にこの道を許してはならないと思うのですが、こうした危険を現実のものにする安保法（戦争法）の成立について、市長はどう受け止めておられるか。</p>
2	質問 (一問一答)	1 五十川員申	<p>1 市政発足後提出された議案に関して</p> <p>(1) 来年度予算の中で取り組まれる、本市における独自政策を教えてください。</p> <p>2 中央地区整備事業に関して</p> <p>(1) 竣工までに事業内容に関してプレゼンをする機会などを設けてはいかがか？</p> <p>(2) 現在事業者から出ていて市民がドキドキわくわくして完成を待てるような提案があれば教えてください。</p> <p>(3) 市長のこの事業にかける思いを、今一度教えてください。</p> <p>3 野々市市の広報について</p> <p>(1) FM-N1の音声データアーカイブを作り市民がいつでも聞けるようにすることはできないか？</p> <p>(2) 本市ホームページに掲載されている、市長からのメッセージと今週の予定のバックナンバーを読めるようにすることはできるか？</p> <p>(3) ふれあいミーティングの実施状況を教えてください。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
3	質問 (一問一答)	3 馬場 弘勝	<p>1 公共施設のマネジメント強化について</p> <p>(1) 中長期的な視点で公共施設全体の状況を分析し、本市独自の施設管理と効果の最適化を行っていく必要がある。平成28年度に策定する予定の本市の公共施設等総合管理計画に盛り込む内容や具体的な項目について、現段階で想定されていることはどのようなものかを問う。</p> <p>(2) 公共施設等総合管理計画の策定期間を早めるなどして、野々市中央公園拡張整備基本計画よりも先に示すことで、野々市中央公園内に造られる体育施設のスポーツ種別や規模、建設予算、事業手法など、具体的内容に対する財政的な部分の根拠とすべきであるが、本市の考え方を問う。</p> <p>2 空家等対策の推進に関する特別措置法について</p> <p>(1) 日本全国で空家等が急増している。空家対策に取り組むにあたり、総合的かつ計画的に実施するという観点から、本市の関係部局による連携体制の構築がまずもって重要である。関係部局による連携体制や周辺住民からの相談体制は、しっかりと整備されているのかを問う。</p> <p>(2) 倒壊等著しく保安上危険となるおそれのある状態又は著しく衛生上有害となるおそれのある状態などと定義される特定空家等への対応や、税制上の措置に関する規定への対応のために必要な協議会の組織、空家等対策計画の策定について、本市の考え方と現段階の状況を問う。</p> <p>(3) 空家等対策特措法は、空家等の活用を促進することも目的とされている。特定空家等となり不良ストックとなる前に、空家等を再活用するまちづくりの資源と捉えた新しいモデルを構築していくべきである。まちづくりや賑わい、ビジネスモデルという観点での本市の考え方、方針を問う。</p>
4	質問 (一問一答)	7 中村 義彦	<p>1 ののいち創生総合戦略実施に伴う施策を問う</p> <p>(1) 野々市らしい産業の創出においては、当市出身の人材の活用や、立地等を考慮して、新たなエンターテインメント産業のメッカを目指し、例えば当市出身のアニメ監督の米林宏昌さんのスタジオ誘致を行い金沢工業大学との産学官民の連携を強め新たにゲームソフト会社、コミック製作会社の進出を働きかけることにより若者が定着する産業が生まれると思うが、市長の思う野々市らしい産業及び、そのための具体的施策を問う。</p> <p>(2) 中心市街地活性化においては、市の顔である旧北国街道及び周辺の保存、再生が必要であると思うが、当市独自の景観条例や、町並み保存条例の制定や、空き家、空き店舗活用の具体的施策を問う。</p> <p>(3) 広域圏の創生における当市と近隣自治体との連携強化の必要性を考える上での施策で、先に発表された野々市市体育施設整備計画や、現有施設の自治体間、相互利用等を広域創生の連携の中にも含める考えはあるかを問う。</p> <p>2 野々市消防団の活動強化策としての機能別消防団制度導入の可能性を問う</p> <p>(1) 野々市消防団におけるサラリーマン団員の増加による平日、日中の団員不足解消策として機能別消防団制度導入により消防団OB及びOB消防士の活用を図ればどうか。</p> <p>3 野々市中央地区にある金沢工業大学所有地の利用促進策等の工大側との協議の有無を問う</p> <p>(1) 野々市中央地区整備事業交流拠点施設前の約500坪の金沢工業大学所有地の有効利用について工大側に協力、連携に向けた働きかけを行っているかを問う。</p>
5	質問 (一問一答)	6 西本 政之	<p>1 地下水採取の規制に関する条例について</p> <p>(1) 昭和51年3月に施行された条例であり、地下水保全などの内容を盛り込み、改正すべき時期であると考え。</p> <p>(2) 国や県、近隣市町との連携強化のために協議できる仕組みが必要と考える。</p> <p>2 文化の発信の強化と野々市ブランドについて</p> <p>(1) 野々市文化の発信を強化し、もっと野々市を県内外にアピールすることが野々市ブランドの確立に繋がると考える。</p> <p>(2) 人間国宝の中野孝一氏に協力を求め、作品を常設展示する考えはないか。</p> <p>3 福祉施設の充実について</p> <p>(1) 新図書館の設計図には「子育て支援室」という小さな部屋がある。どのような目的で、どのような運用を考えているのか。</p> <p>(2) 子育て支援センター等の福祉施設は分散させるよりも、一か所に集積したほうが機能強化につながると思う。各施設の老朽化も進んでおり、早急な対応が必要と考える。</p> <p>4 発達相談センターの設置について</p> <p>(1) 金沢以南の市で設置されていないのは野々市だけとなった。早急に設置すべきと考える。</p> <p>5 通級学級について</p> <p>(1) 市内中学校にも、通級学級を設けよ。</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
6	質問 (一問一答)	2 北村 大助	<p>1 ののいち創生総合戦略の基本戦略1「しごとを創る～野々市らしい産業の創出～」について</p> <p>(1) 市内に1,547社の企業が各分野で現在活躍しており、本市の経済産業基盤を支えています。本市の各中小企業等融資制度がほとんど活用されていないということに対し、使いにくい制度になっていないかどうか等を民間企業・金融機関の有識者等を交えた検証はなされているのかを問う。</p> <p>(2) 「次代を担う産業の創出」に取り組む中で、例えば、石川県融資制度の創業者支援融資等にプラスしたさらなる本市独自のサポート融資の創設検討の考えがないかを問う。</p> <p>(3) これから、企業誘致に積極的に取り組む中、特に現在、本市の活力を支えている第3次産業に対する施策メッセージを出す必要があると考えるが本市の方針を問う。</p> <p>(4) 中小企業支援制度として現在、補助金・助成金制度が10制度ありますが、利用されていない制度も含め、制度開始から本当に有効に活用されていると検証されているのか、今後の展望と合わせて本市の取り組みを問う。</p> <p>(5) 創生総合戦略策定にあたり「市民意識調査」が大変重要な役割を果たしましたが、自治体の情報収集・分析力がこれからさらに大きな責務を担うなかで、地域経済分析システム等の統計情報を一括で収集分析し、評価解析を行う専門部門を新たに設置する組織構想が今後検討する予定があるか本市の方針を問う。</p> <p>(6) 創生総合戦略基本戦略1の施策に企業間・人材ネットワーク構築支援とありますが、具体的な行政支援実施する取り組みと、評価基準を設けて検証するサイクルシステムが構築されているのかを問う。</p> <p>(7) 「研究開発施設の誘致促進と市域産業の集積創出」とあるが、誘致に対するアプローチ戦略・PR戦略・タイムスケジュールや目標設定・評価などの策定に至っているのか本市の進捗を問う。</p> <p>2 中央公園内の椿鑑賞展示施設及び椿育成施設棟について</p> <p>(1) 平成29年3月開催予定の第27回全国椿サミット野々市大会に向けて1億円を超える税金を投じて中央公園内に椿鑑賞展示施設と椿育成施設の2棟を建築されますが、椿サミット後の施設利用について、どのような有効活用プランを計画されているのか本市の計画を問う。</p> <p>3 県道矢作・松任線の下林西交差点～長竹東交差点の道路幅員拡張について</p> <p>(1) 県道矢作・松任線の下林西交差点～長竹東交差点の約1km区間の幅員について、今後、広域防災拠点として中央公園拡張整備などに伴い、同区間が物資輸送など市外広域圏より国道157号線（金沢外環状道路）から一番早く広域防災拠点にアクセス出来る拠点間ネットワーク道路の役割が想定されますが、幅員拡張の検討を県側と協議するのか本市の方針を問う。</p>
7	質問 (一問一答)	14 大東 和美	<p>1 成人用肺炎球菌ワクチンの再勧奨について</p> <p>(1) 本市の予防接種を受けている人数及び対象年齢ごとの割合を問う</p> <p>(2) 本市の再勧奨の状況について問う</p> <p>2 子育て支援アプリの推進</p> <p>(1) 本市の特徴を活かした子育て支援アプリの推進について問う</p> <p>3 介護ポイント</p> <p>(1) 本市のポイント導入の検討結果について問う</p> <p>4 企業版ふるさと納税について</p> <p>(1) ふるさと納税の総額及び人数を問う</p> <p>(2) 企業版ふるさと納税に支援事業メニューを用意してはどうか問う</p> <p>5 自転車走行指導帯について</p> <p>(1) 金沢工業大学前の通りの自転車走行用線引きについて問う</p> <p>(2) 本市の自転車専用道路計画について問う</p> <p>6 病院とつなぐバス路線の推進</p> <p>(1) 民と公で新しいバス路線の開設を試行してはどうか問う</p> <p>7 地方版ハローワークについて</p> <p>(1) 本市のハローワークの取り組みについて問う</p> <p>8 サービス付き高齢者住宅について</p> <p>(1) 本市の「サ高住」の取り組みについて問う</p>

発言順	質問・質疑の別	議席・氏名	質問・質疑の内容（通告原文のとおり）
8	質問 (総括)	4 安原 透	<p>1 今年の総括と来年度に向けて</p> <p>(1) 栗市長は、今議会開会初日の所信表明の中で第一次総合計画の目指す本市像として、「人の和で椿十徳生きるまち」「市民協働のまちづくり」、創生戦略として「選ばれるまちづくり」を説明された。2011年11月11日、市政に移行致してから、今現在の本市の状況をふまえて、来年度、本市がどのようなまちを目指していくのか、今年の総括と来年に向けた栗市長の思いを、あらためて伺う。</p> <p>2 地区公民館の今後の在り方について</p> <p>(1) 本市における地区公民館の今後の方向性は、子供達や高齢者の方の生涯学習の拠点施設並びに地域コミュニティの拠点施設としての役割が求められる。「市民協働のまちづくり」をさらに推進する為の町内会と並ぶ大きな柱として、新規事業・新しい取り組みについては、さらに予算も含めた行政のバックアップが必要と考える。本市の方針と取組みを問う。</p> <p>3 地区公民館の運営について</p> <p>(1) 地区公民館（中央公民館は除く）の職員体制と、公民館の利用状況を踏まえて、もっと市民がいつでも生涯学習、地域コミュニティの拠点として地区公民館を利用できるように、職員体制を強化していく必要があるのではないか。現状、職員の勤務体制上、公民館の利用時間や利用の仕方に、主事の勤務体制の負担にも配慮しながら、勤務体制上の穴を埋め、もっと、市民目線の公民館使用の利用しやすいあり方を検討しなければならないと思うが、本市の考え方を問う。</p> <p>(2) 地区公民館において、夕方以降の利用状況が少なく各公民館の課題となっている。利用がなくても、公民館を開館しておくためのコストが必然的にかかっている。時間的に利用が少ないのであればもっと市民がいつでも生涯学習、地域コミュニティの拠点として地区公民館を利用できるように、特にこの時間帯であれば子供たちに何かを教えたいと思う市民に子供塾みたいな学びのスペースを公募してはいかか。塾や放課後児童クラブ以外の子供達の居場所としての公民館のあり方として、本市の考えを問う。</p>